

# 富士宮市の農業

(令和4年度版)



産業振興部農業政策課

## 目 次

* 富士宮市の地目別面積	2
* 富士宮市の農家数と農家人口	3
* 農業産出額と作付面積	4
* 富士宮市の畜産飼養戸数と飼養数	5
* 富士宮市のにじます	6
* 富士宮市の水田	8
* 富士宮市の農村	10
* ふじのくに美しく品格のある邑	11
* 富士宮市農業の担い手	12
* 富士宮市フードバレー推奨農産物認定制度	14
* エコファーマー	15
* 富士宮産のたい肥	16
* 市民農園	18
* ふじのみや農産物等直売所一覧	20

# 富士宮市の地目別面積

各年毎の地目別土地面積(単位:ha)

地目	区分	宅地	田	畑	山林	原野	雑種地	その他	計
平成23年	富士宮市	2,613	1,097	3,233	14,252	1,934	1,440	14,330	38,899
平成24年	富士宮市	2,649	1,081	3,172	14,489	1,726	1,458	14,323	38,899
平成25年	富士宮市	2,633	1,078	3,154	14,510	1,723	1,473	14,328	38,899
平成26年	富士宮市	2,647	1,076	3,141	14,491	1,722	1,491	14,331	38,899
平成27年	富士宮市	2,627	1,072	3,121	14,441	1,720	2,271	13,656	38,908
平成28年	富士宮市	2,669	1,067	3,106	13,928	1,712	1,516	14,910	38,908
平成29年	富士宮市	2,680	1,064	3,077	13,915	1,725	1,537	14,910	38,908
平成30年	富士宮市	2,695	1,060	3,053	13,915	1,719	1,554	14,912	38,908
令和元年	富士宮市	2,707	1,056	3,038	13,916	1,721	1,560	14,910	38,908
令和2年	富士宮市	2,743	1,051	3,038	13,907	1,701	1,570	14,898	38,908
令和3年	富士宮市	2,637	1,048	2,998	13,903	1,701	1,585	15,036	38,908
令和4年	富士宮市	2,654	1,044	2,970	13,898	1,701	1,603	15,038	38,908

各年毎の地目別土地面積の割合(%)

地目	区分	宅地	田	畑	山林	原野	雑種地	その他	計
平成23年	富士宮市	6.7	2.8	8.3	36.6	5.0	3.7	36.8	100.00
平成24年	富士宮市	6.8	2.8	8.2	37.2	4.4	3.7	36.8	100.00
平成25年	富士宮市	6.8	2.8	8.1	37.3	4.4	3.8	36.8	100.00
平成26年	富士宮市	6.8	2.8	8.1	37.3	4.4	3.8	36.8	100.00
平成27年	富士宮市	6.8	2.8	8.0	37.1	4.4	5.8	35.1	100.00
平成28年	富士宮市	6.9	2.7	8.0	35.8	4.4	3.9	38.3	100.00
平成29年	富士宮市	6.9	2.7	7.9	35.8	4.4	4.0	38.3	100.00
平成30年	富士宮市	6.9	2.7	7.8	35.8	4.4	4.0	38.3	100.00
令和元年	富士宮市	7.0	2.7	7.8	35.8	4.4	4.0	38.3	100.00
令和2年	富士宮市	7.0	2.7	7.8	35.7	4.4	4.0	38.3	100.00
令和3年	富士宮市	6.8	2.7	7.7	35.7	4.4	4.1	38.6	100.00
令和4年	富士宮市	6.8	2.7	7.6	35.7	4.4	4.1	38.7	100.00

注2 数値は各年1月1日現在のものである

注3 端数処理のため、内訳と計が一致しない場合がある

# 富士宮市の農家数と農家人口

各年毎の農家数、農家人口(単位:戸、人)

項目	専業農家(戸)		兼業農家				兼業農家計(戸)		専業・兼業農家計(戸)		農家人口(人)		1戸当たりの農家人口(人)	
			第一種兼業農家		第二種兼業農家									
旧区分	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川
平成7年	288	43	355	38	1,026	426	1,381	464	1,669	507	8,095	2,387	4.85	4.71
平成12年	239	31	236	11	900	353	1,136	364	1,375	395	6,733	1,844	4.90	4.67
平成17年	224	48	192	9	650	252	842	261	1,066	309	4,993	1,284	4.68	4.16
平成22年	181	36	156	18	556	216	712	234	893	270	3,880	1,091	4.34	4.04
平成27年	297		107		611		718		1,015		3,917		3.85	

※2020年農林業センサスより調査方法が変更になったため、以下の項目に変更します。

項目	総農家数(戸)	販売農家	自給的農家	主副業別経営体数計(経営体)	主業	65歳未満の農業専従者がいる	準主業	65歳未満の農業専従者がいる	副業的	農業従事者数(世帯員数)
令和2年	2,193	810	1,383	817	149	132	106	52	562	1,977

各年毎の専兼業別農家戸数の比率(単位:%)

項目	専業農家		兼業農家				兼業農家計		専業・兼業農家計	
			第一種兼業農家		第二種兼業農家					
旧区分	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川	富士宮	芝川
平成7年	17.3	8.5	21.3	7.5	61.5	84.0	82.7	91.5	100	100
平成12年	17.4	7.8	17.2	2.8	65.5	89.4	82.6	92.2	100	100
平成17年	21.0	15.5	18.0	2.9	61.0	81.6	79.0	84.5	100	100
平成22年	20.3	13.3	17.5	6.7	62.3	80.0	79.7	86.7	100	100
平成27年	29.3		10.5		60.2		70.7		100	

※2020年農林業センサスより調査方法が変更になったため、以下の項目に変更します。

項目	総農家数(戸)	販売農家	自給的農家	主副業別経営体数計(経営体)	主業	準主業	副業的
令和2年	100	36.9	63.1	100	18.2	12.9	68.9

- 注1 農林水産省「2020年農林業センサス」による  
 注2 数値は各年2月1日現在のものである  
 注3 芝川と富士宮は平成22年3月に合併

# 農業産出額と作付面積

## 耕種農業産出額(推計)

単位: 1,000万円

項目	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸農作物	その他作物	加工農産物	計
平成30年	73	0	0	0	5	189	10	23	28	4	18	350
令和元年	70	非公表	0	1	12	175	7	非公表	25	非公表	17	307
令和2年	63	非公表	0	1	14	172	8	非公表	21	非公表	14	293
R2 順位 (位)	県内	9	非公表	0	1	8	10	21	非公表	15	非公表	15
	全国	649	非公表	0	482	209	333	730	非公表	146	非公表	35

※農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」による

## 畜産農業産出額(推計)

単位: 1,000万円

項目	肉用牛	乳用牛		豚	鶏			その他畜産物	計
		生乳			鶏卵	ブロイラー			
平成30年	163	481	420	32	928	819	非公表	142	1,746
令和元年	148	507	446	55	879	788	80	5	1,594
令和2年	139	498	452	53	863	776	76	5	1,558
R2 順位 (位)	県内	2	1	1	5	1	1	2	7
	全国	122	38	33	177	13	4	80	79

※農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」による

## 販売目的で作付け(栽培)した主な作物の類別作付け(栽培)面積

単位: a

R5	水稻	そば	ばれいしょ	かんしょ	茶	さといも	はくさい	ほうれんそう	ねぎ	ブロッコリー	トマト	柿
平成27年	24,224	92	326	442	18,799	913	714	936	1,717	564	905	767
令和2年	19,429	620	445	900	14,609	非公表	362	844	非公表	566	430	592

※農林水産省「農林業センサス」による

# 富士宮市の畜産飼養戸数と飼養数

項目	乳用牛			肉用牛		豚		
	飼養戸数	飼養頭数		飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	
			うち搾乳牛					うち子取り用雌
平成27年	79	6,501	5,211	13	5,308	13	9,357	1,036
平成28年	79	6,047	4,742	13	5,185	13	8,828	900
平成29年	73	6,219	4,808	13	5,282	13	8,238	1,145
平成30年	72	6,344	4,876	13	5,084	12	9,487	1,255
令和元年	68	6,250	4,793	12	5,033	11	8,994	1,670
令和2年	65	6,385	4,812	13	5,248	9	9,882	2,179
令和3年	62	6,958	4,923	16	4,808	11	9,361	1,850

項目	採卵鶏		ブロイラー	
	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数
平成27年	10	2,288,837	5	468,900
平成28年	9	2,370,082	5	472,900
平成29年	9	2,367,844	5	510,500
平成30年	9	2,380,896	5	505,704
令和元年	9	2,385,057	5	543,922
令和2年	9	2,598,030	5	585,203
令和3年	10	3,507,500	5	582,700



注1 「東部家畜保健衛生所」による  
 注2 数値は各年2月1日現在のものである

# 富士宮市のにじます

富士山の湧水が豊富な富士宮市では、にじますの養殖が盛んに行われており、全国有数の生産量を誇っています。平成21年には全国的にも珍しい「市の魚」としてにじますを制定し、富士宮市の重要な資源となっています。

飼育密度10kg/m<sup>3</sup>以下のゆったりとした環境で育てられた魚体重5kg以上の「湧幻鱒（ゆうげんます）」は、富士宮産にじますのトップブランドです。

## <湧幻鱒の名称の由来>

- 湧・・・富士の豊富な湧き水であることを意味する
- 幻・・・非常に希少価値の高い商品であることを意味する
- 鱒・・・サーモンの代替品ではない「にじます」であることを意味する



『湧幻鱒』

『しずおか食セレクション』で認定を受けた「紅富士（あかふじ）」は、富士養鱒漁業協同組合のブランドにじますとして生産されています。紅富士は、2～3年かけ魚体重2kg以上の未成熟魚で産卵をさせずに育成させるため、身に栄養分を残したまま出荷されます。

養殖から出荷までの管理を行う「養殖管理マニュアル」を定め、厳格な基準のもと、高品質・安心・安全ににじますを生産しています。



## <富士宮市の養鱒業の歴史概要>

- 明治10年 アメリカより国内初のにじますの卵が移入
- 昭和8年 猪之頭に静岡県水産試験場富士養鱒場が開設
- 昭和9年 淀師に民間養鱒場第1号が誕生
- 昭和25年 日本初の冷凍にじますの輸出（ハワイ向）が行われる  
その後量が伸び、盛んになるとともに種卵生産等のいろいろな養殖技術の研究・開発が進んだ他、配合飼料が昭和30年代後半に市販されるようになり、生産量が急速に伸びる
- 昭和46年 ドルショック（変動為替制移行）後、輸出の道が細まり、閉ざされる流れに巻き込まれる中、昭和40年代末頃より国内販売への本格的な転換を進める

—富士養鱒漁業協同組合より—



## にじますの生産量

単位:トン

区分	全国生産量	静岡県生産量(全国比)	全国順位
平成27年	4,833	1,077 (22.3%)	1位
平成28年	4,957	1,071 (21.6%)	1位
平成29年	4,797	1,080 (22.5%)	1位
平成30年	4,732	1,072 (22.7%)	1位
令和元年	4,775	1,058 (22.2%)	1位
令和2年	3,858	800 (20.7%)	1位
令和3年	4,161	897 (21.6%)	1位

注1 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」による

## 富士養鱒漁業協同組合の年度別出荷量および金額

区分	ます類		発眼卵		稚魚	
	出荷量(t)	金額(千円)	出荷量(万粒)	金額(千円)	出荷量(万尾)	金額(千円)
平成27年	373	343,321	858.7	10,463	32.2	3,032
平成28年	388	347,859	720.6	9,041	32.7	2,733
平成29年	373	328,567	638.6	7,984	35.9	2,190
平成30年	377	367,549	479.0	8,748	36.3	3,597
令和元年	355	344,623	490.7	7,045	40.7	3,340
令和2年	378	323,335	391.4	5,792	24.0	1,815
令和3年	416	386,003	527.5	7,663	10.2	1,635

注2 稚魚とは体重66gまでのものをいう



## にじますの栄養成分

成分	単位	にじます	マアジ	鶏肉 (皮付きモモ)	鶏卵	牛乳
エネルギー	kcal	127.00	121.00	200.00	151.00	67.00
タンパク質	g	19.70	20.70	16.20	12.30	3.30
脂質	g	4.60	3.50	14.00	10.30	3.80
カルシウム	mg	24.00	27.00	5.00	51.00	110.00
リン	mg	240.00	230.00	160.00	180.00	93.00
ビタミンE	mg	1.20	0.40	0.20	1.10	0.10
ビタミンB1	mg	0.21	0.10	0.07	0.06	0.04
ビタミンB6	mg	0.36	0.40	0.18	0.08	0.03
ビタミンB12	μg	6.00	0.70	0.40	0.90	0.30
パントテン酸	mg	1.63	0.70	1.68	1.45	0.55
不飽和脂肪酸	g	2.63	1.76	7.80	5.16	0.99
DHA	mg	552.00	380.00	70.00	151.00	—
コレステロール	mg	72.00	77.00	98.00	420.00	12.00

注1 富士養鱒漁業協同組合ウェブサイトより

注2 栄養成分は、可食部100g中のものとする



# 富士宮市の水田

## 1 自然条件

富士宮市は、静岡県東部、富士山の南西麓に位置し、北東部に富士山、北西部に毛無山系の急峻な山地があり、毛無山系から南西部にかけてはなだらかな丘陵が連なっています。全体としては、北東から南西に向かってゆるやかな傾斜地をなし、南端に市街地が形成されています。

## 2 農業の現状と方向

富士宮市の農業は、北部地域で畜産、南部地域でお茶、その他の地域では水稻や野菜を主な生産物として展開し、地域性を発揮しています。しかし、農地は区画の狭小、不整形といった未整備小規模分散型農地が多く、また、基盤整備の遅れと兼業化の進展、経営主の高齢化などから遊休化する農地が増えてきています。そのため、近年では地域の水田農業の担い手への利用集積に努めています。

また、米価が低迷する中、経営の安定化、食料自給率向上を目的とした戸別所得補償モデル対策事業が平成 22 年度からスタートし、平成 25 年度より経営所得安定対策に名称変更し実施されています。

富士宮市でも、これまで取り組んできた水田への転作作物の推進に加え、本対策のポイントでもある麦・大豆・飼料作物・米粉用米・飼料用米等の作付けを積極的に支援し、水田が活用されて休耕田の解消につながるよう努めていきます。



写真：令和 4 年度富士宮市田んぼの学校「田植え体験」

### 3 水稲作付面積

(単位: m<sup>2</sup>)

地区名	令和2年度 水稲作付実施面積	令和3年度 水稲作付実施面積	令和4年度 水稲作付実施面積
北部	19,069	17,690	17,690
大宮	180,950	168,963	161,473
富丘	342,817	335,461	328,432
西部	80,597	75,764	71,769
北山	390,943	374,133	365,247
白糸	623,158	613,936	598,978
西麓	58,136	60,567	60,769
上野	1,100,493	1,078,111	1,051,957
富士根	165,648	167,774	161,794
山宮	38,935	38,935	35,988
柚野	640,961	605,705	604,125
芝川	490,721	458,997	435,469
合計	4,132,428	3,996,036	3,893,691

### 4 主要水田転作作物作付面積

(単位: m<sup>2</sup>)

作物名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
麦	15,699	21,542	37,505
大豆	26,859	25,333	25,315
飼料作物	99,532	86,001	99,074
そば	15,692	47,803	32,731
スイートコーン	64,429	65,980	60,110
さといも	38,798	38,081	38,021
キャベツ	80,522	77,790	78,311
いちご	14,895	12,832	12,477
落花生	41,322	63,325	65,334

注1 令和4年度水稲生産実施計画(田んぼの利用予定調査)の回答から集計

注2 令和4年度実績は令和5年1月1日現在のもの

# 富士宮市の農村

## 1 農村が暮らしを守る

富士宮市は、日本一の高低差があるまちです。農業については、傾斜があつたり、小さい農地は点在していたりと、必ずしも利用しやすいわけではありません。

しかし、こういった中山間地域の農村や農業が維持されていくことは、水資源の確保、洪水の被害軽減など、平地の住民を含む多くの人々の生命・財産と豊かな暮らしを守る役割を果たしています。

## 2 市内の中山間地域

9法指定地域（山村振興法・特定農山村法）	旧柚野村（上柚野、下柚野、猫沢、大鹿窪、鳥並、上稲子、下稲子）
県知事特認地域	旧北山村（北山、山宮）
	旧上井出村（根原、麓、猪之頭、人穴、上井出）
	旧白糸村（内野、佐折、半野、原、狩宿）
	旧芝富村（西山、大久保、羽鮒、長貫）
	旧内房村（内房）

## 3 多面的機能支払交付金

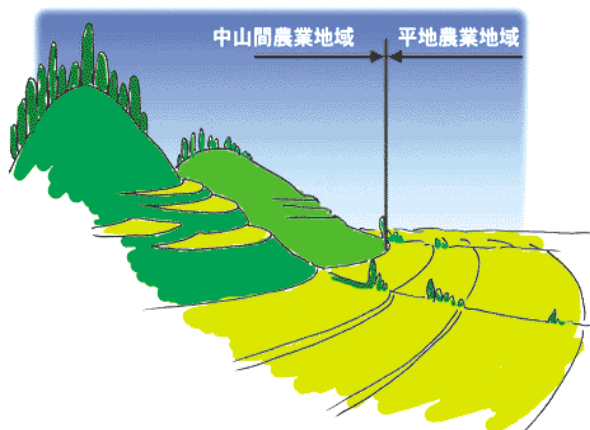
こういった農村を守るため、維持活動や資源向上を行う組織を市は支援しています。

農地維持活動…農地の法面や農道、水路の草刈りや堀さらい等

資源向上活動…農地の法面や農道、水路の軽微な補修に加え、農村環境の保全や多面的機能の増進を図る活動

### 【令和4年度取組組織】

組織名	開始年度
いいな、故里は 守ろう原睦み会	19
縄文の里「おおしか幸区」	19
天子ヶ岳の郷保存の会	22
南条の里農地保全会	23



# ふじのくに美しく品格のある邑

## 1 ふじのくに美しく品格のある邑（むら）とは

農業者と地域内外の人々が共に地域の将来を考えて行動し、幸福感を共有できるコミュニティを創造する取組です。邑は登録制で、県と県内の35市町で構成する「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定しています。

## 2 市内の登録状況

組織名	登録年度	所在地	特色
柚野の里	H24	下柚野	柚野の棚田群
白糸の里	H26	原	平成棚田、水かけ菜、平成棚田祭り
南条の里	H27	下条	クッションマム、蕎麦まつり
内房の里	H28	内房	たけのこ、ほたる
天子ヶ岳の里	H29	半野	彼岸花ロード、天子の雫
五感で癒される 湧水の里いのかしら	H30	猪之頭	養鱒、わさび、陣馬の滝
羽鮒の里	R2	羽鮒	羽鮒山展望台



# 富士宮市農業の担い手

## 1 人・農地プランの実質化

「人・農地プラン」とは、地域の農業者の話合いに基づき、今後の地域農業の在り方や地域の中心となる経営体の将来展望などを明確化したものです。

「人・農地プラン」を真に地域の話し合いに基づくものにする観点から、アンケートの実施、アンケート調査や話合いを通じて地図による現況把握を行った上で、中心経営体への農地の集約化に関する将来方針を作成することにより、「人・農地プランの実質化」を図っております。

富士宮市では、国の支援制度や事業を活用するため、「人・農地プランの実質化」を推進し、令和5年3月をもって市内全地区の実質化を達成しました。

○プラン実質化地区数：20地区

○地区名：猪之頭地区、開拓地区（富士丘）、開拓地区（荻平）、開拓地区（広見・一の竹）、星山地区（向原）、貫戸地区（源間・狐塚・鳥ノ上）、上羽鮎地区、杉田地区、柚野地区（蔓根・外ヶ谷戸工区）、白糸地区、大宮地区、富丘地区、富士根地区、北部地区、北山地区、上野地区、上井出地区、朝霧地区、柚野地区、芝川地区

## 2 主な支援制度

人・農地プランに位置づけられ、市長の認定を受けた経営体は、さまざまな支援制度を活用できます。

※認定制度については、次ページ参照

制度名	対象	内容
農業次世代人材投資資金（令和3年度まで）	認定新規就農者のうち、市の採択を受けた者	経営が不安定な就農直後の所得を確保し新規就農する青年農業者を支援する交付金制度 ○経営開始から最長5年間 ○年額最大150万円（夫婦は1.5倍）
新規就農者育成総合対策資金（令和4年度から）	認定新規就農者のうち、市の採択を受けた者	経営発展支援事業 就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を行う場合支援を行う制度。 ○経営開始年のみ対象 ○対象事業費上限1,000万円（補助率国1/2、県1/4、対象者負担1/4） 経営開始資金 経営が不安定な就農直後の所得を確保し新規就農する青年農業者を支援する交付金制度 ○経営開始から最長3年間 ○年額最大150万円（夫婦は1.5倍）
青年等就農資金	認定新規就農者	農業経営を開始する際に必要な資金を無利子で利用できる融資制度 ○施設・機械の購入費・修繕費・種苗・家畜・農機具の賃借権の取得費・開業にかかる経費

農地利用効率化等 支援交付金	認定農業者、 認定新規就農者	経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入等について支援する交付制度 ○補助率 3/10以内（上限300万円） ○導入事業費50万円以上 ○融資機関からの融資を活用が必須
農業経営基盤強化 資金（スーパーL 資金）	認定農業者	償還期間が長い、借入金額が大きい場合等に利用できる長期資金の5年間無利子化 ○農地の購入、農業用機械、果樹、茶の植栽または育成、家畜の購入、長期運転資金

### 3 認定農業者と認定新規就農者

市では、農業経営基盤強化促進法に基づき、2種類の認定を行っています。

#### (1) 認定農業者【農業経営改善計画の認定】

やる気と能力のある経営体が、経営規模の拡大、生産方式・経営管理の合理化、農業従事の態様の改善について、5年後の目標とそれを達成のための計画を作成します。市の基本構想では、年間所得500万円、年間労働時間1,800～2,000時間程度の達成を目標としています。

#### (2) 認定新規就農者【青年等就農計画の認定】

新たに農業経営を営もうとする青年等の経営体が、5年後の目標とそれを達成するための計画を作成します。市の基本構想では、5年後に年間所得300万円、年間労働時間2,000時間程度の達成を目標としています。

### 4 富士宮市の認定数

営農類型		認定農業者数 (法人を含む) R5.3.31 <u>現在</u>	認定新規就農者数 (法人を含む) H26.10.1～R5.3.31 までに認定を受けた <u>総数</u>
耕 種	茶	24	2
	露地野菜	22	17
	施設野菜	17	4
	果樹類	1	0
	花き・花木	13	1
	その他(コケ類・複合経営)	7	2
畜 産	酪 農	49	2
	肉用牛	10	0
	養 豚	9	0
	養 鶏	8	0
合 計		160	28

# 富士宮市フードバレー推奨農産物認定制度

市内で生産された安全でおいしい農産物を「富士宮市フードバレー推奨農産物」として、市が広く消費者の皆さんやマーケットにおすすしめし、生産を応援するための制度です！！

## 1 認定要件

- ① 市内で出荷を目的として生産している農産物であること。
- ② 生産過程での農薬及び化学肥料の使用量が、慣行使用量（静岡県が定める特別農産物に係る表示ガイドラインによるもの）の8割以下であること。
- ③ 市内畜産農家が生産した家畜由来の堆肥を積極的に使用すること。

## 2 認定の流れ

- ① 申請書と生産計画書を市役所の食のまち推進室へ提出してください。
- ② 市の審査を経て認定されると、認定証が届きます。（認定期間は5年間です。）
- ③ 認定後は、3月時点で生産が完了している農産物の生産管理書を毎年提出してください。

## 3 認定されると

- ① 出荷の際、農産物に下の「推奨マーク」を表示して消費者へ安全性をアピールできます。
- ② 認定された農産物は、富士宮市のホームページで公開するなどしてPRをしていきます。



## 4 認定状況

14 農家 38 品目

作 目	認定件数
茶	1
米	1
落花生	5
スイートコーン	5
キャベツ	7
白菜	4
さといも	2

令和5年3月31日現在

作 目	認定件数
大根	2
白ネギ	2
レタス	1
果物	1
その他	7
合計	38

# エコファーマー

エコファーマーとは、平成11年7月に制定された「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（持続農業法）」第4条に基づき、「持続性の高い農業生産方式」すなわち堆肥などによる土作り・化学肥料の削減・農薬使用の削減に関する環境にやさしい農業の「導入計画」を都道府県知事に提出して、当該計画が適当である旨の認定を受けた農業者の愛称です。

## 1 計画の認定

認定を受けようとする農業者は、県が定める「静岡県における持続性の高い農業生産方式の導入に関する指針」に従い、持続性の高い農業を実施するための計画書を作成し、農林事務所に提出します。農林事務所は、現地調査や面接を行い、計画を認定することで、申請者はエコファーマーとして農業に従事することになります。対象作物としては、この指針の中で県内の主要な117種類の農産物を選択し、持続性の高い農業生産方式として、堆肥等・化学肥料・化学農薬の使用の目安に従い、農業生産を行うこととなっています。

## 2 エコファーマーの認定状況

富士宮市内においてエコファーマーの認定を受けた農業者は7人ですが、エコファーマーの認定は作目ごとに受けるため、1人の農業者が複数の認定を受けることがあり、認定件数と農業者数は異なります。

エコファーマーが作った農作物には、上図のエコファーマーマークをつけることができます。



市内で認定されている作目と件数

作目	件数
茶	2
水稻	1
小松菜	2
ホウレンソウ	3
白ネギ	2
葉ネギ	2

令和5年1月1日現在

作目	件数
ニンニク	1
ウメ	1
トウガラシ	1
合計	15




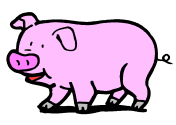
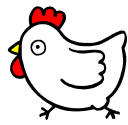
# 富士宮産のたい肥

富士宮には畜産農家が数多くあり、それぞれ特徴のある家畜ふんの「たい肥」を製造しています。野菜等の栽培に使えるたい肥について紹介します。

## 1 家畜ふんたい肥の特徴

家畜ふんたい肥は、畜種(牛・豚・鶏)と副資材(水分調整に使うおがくずや剪定枝など)の量で特徴が異なります。一般的に鶏ふんたい肥は肥料効果が高く、牛ふんたい肥は土づくり効果が高いといわれ、豚ふんたい肥はその中間です。また、肥料効果はたい肥を毎年施肥するほど高くなり、連用することで窒素の肥効が倍になるという試験結果もあります。

家畜ふんたい肥の種類と施用効果

	 牛ふんたい肥	 豚ふんたい肥	 鶏ふんたい肥
土づくり効果	大	←→	小
肥料効果	小	←→	大

## 2 たい肥の成分 (右ページの表参照)

**窒素・リン酸・カリ**：「植物の3要素」と呼ばれる重要な肥料成分で、特に家畜ふんたい肥のリン酸・カリは化学肥料並みに効きます。このほかに、石灰や苦土(特に鶏ふんたい肥)、微量元素などを含みます。

**水分**：水分は施肥のしやすさに影響します。水分が高いと、重くて傾斜地などへの施肥に不向きです。しかし水分が低いものは風で飛びやすくなり、市街地での施肥には向きません。なお、たい肥の水分はたい肥を作った時期や、追熟期間の長さで変化します。

**炭素率(CN比)**：古くはたい肥の腐熟度をはかる指標でしたが、現在はそれほど重要視されません。牛ふんたい肥では、およそ15~20、鶏ふんたい肥では5~10が一般的です。

**副資材**：たい肥と混合するおがくず、もみがら、パークなどのことを指し、水分調整や通気性確保の役割があります。剪定枝などたい肥化したあとも形が残っているものもあり、施肥する際にはそのことを考慮する必要があります。

**たい肥化までの日数**：腐熟に必要な日数は、機械で攪拌(かくはん)したものほど短く、でき上がりも均一な形状になります。一方、切返し方式では熟成期間を長くとります。どちらの方法でも十分腐熟が進んだものが製品として販売されています。

(協力：静岡県畜産技術研究所 飼料環境科)

### 3 たい肥供給畜産農家情報一覧

	畜種	名称	所在地	窒素	リン酸	カリ	水分	炭素率	副資材	堆肥化までの日数	問い合わせ
1	乳牛	赤池 昭悟	栗倉960	1.38	0.68	1.27	49.9	15.7	廃菌床、おが粉、ワラ	180	27-1789
2		あさぎり有機リサイクル・システム	麓474-6	1.50	0.47	1.15	35.3	18.9	剪定枝、おが粉	90	52-1368
3		佐野 将史	下条282	0.97	0.80	2.18	48.7	22.1	おが粉	60	58-0098
4		(株)DOIFARM	下条806-1	0.77	1.09	1.41	60.4	17.4	おが粉、もみ殻、プレナ	120	58-2619
5		人穴第2堆肥組合	人穴388-1	1.22	0.97	1.82	41.0	18.5	剪定枝、戻し堆肥、おが粉	80	54-0888
6		たんぼぼ有機組合	人穴444	1.19	0.88	1.06	23.7	17.3	剪定枝、プレナ	90	54-0895
7		時田 正則	村山1296-1	1.80	1.74	3.26	29.7	14.8	おが粉、残餌	200	23-2433
8		中野 学	村山1479-1	1.36	1.97	2.28	37.6	14.6	剪定枝	60	24-1024
9		朝霧メイプルファーム(有)	根原241-5	1.65	0.80	1.32	12.3	18.7	おが粉、剪定枝	60	52-0549
10		(株)ブッチーファーム	根原411	1.14	0.83	1.32	63.7	13.5	剪定枝、おが粉	90	52-0044
11		大澤 里嗣	根原303	1.16	1.10	1.94	43.2	20.5	プレナ、おが粉、戻し堆肥	80	52-0603
12		(株)エル・ファーム・サカキバラ	根原23-6	0.77	0.41	0.85	56.4	23.7	剪定枝、プレナ、ウッドペレット	60	080-9430-9116
13		(株)クリスタルフラワー	人穴697	1.07	0.99	1.73	32.1	19	おが粉	60	080-3627-4251
14	(有)ユウキセンタータカノ	上井出3630	3.93	6.23	5.83	20.8	7.0		365	54-1688	
15	肉牛	佐藤 哲郎	根原139-3	1.71	1.98	2.66	40.0	12.9	剪定枝	180	080-5162-8272
16		人穴たい肥生産利用組合	人穴137-318	1.35	2.02	3.07	44.9	16.3	おが粉	180	52-3668
17		野澤 正樹	村山675-8	1.91	3.20	3.38	29.3	13.4	プレナ、ワラ、米ぬか	120	24-8422
18		あおぞら有機センター	北山95	2.34	3.97	3.88	24.1	12.9	おが粉	180	58-1515
19		筒井 一元	村山1271-8	1.77	2.46	2.90	32.3	14.3	おが粉	90	24-8587
20	養豚	山宮堆肥生産利用組合	北山5247-34	3.05	6.01	2.60	22.5	9.5	おが粉	60	29-0555
21	(農)富士宮養鶏団地組合	人穴640-2	2.43	4.98	3.73	20.3	9.5	(未使用)	60~90	54-0839	
22	養鶏	(株)青木養鶏場 ①	万野原新田4076-1	2.54	8.62	10.74	8.2	12.8	(未使用)	5	58-1601
23		(株)青木養鶏場 ②	万野原新田4076-1	3.98	2.44	3.02	20.1	8.4	-	10	58-1601

※成分は令和4年7月に行った分析の数値です。

※成分以外のデータは令和5年1月1日現在のものです。



# 市 民 農 園



市民農園とは、一般的に都市の住民がレクリエーションなどの目的（営利目的ではない）で、小面積の農地を利用して野菜や花などを育てるための農園のことです。

果物のもぎ取り園とは違い、自分で種をまき、肥料をまくなど、農業を体験する場となっています。継続して野菜づくりをするため、自然と触れ合ったり、食べ物の尊さについて考えたり、そこで知り合った人と話をしたりする機会にもなります。また、家族で参加することで、親子・家族のふれあいの場となっています。

## 富士宮市の市民農園

令和5年1月4日現在

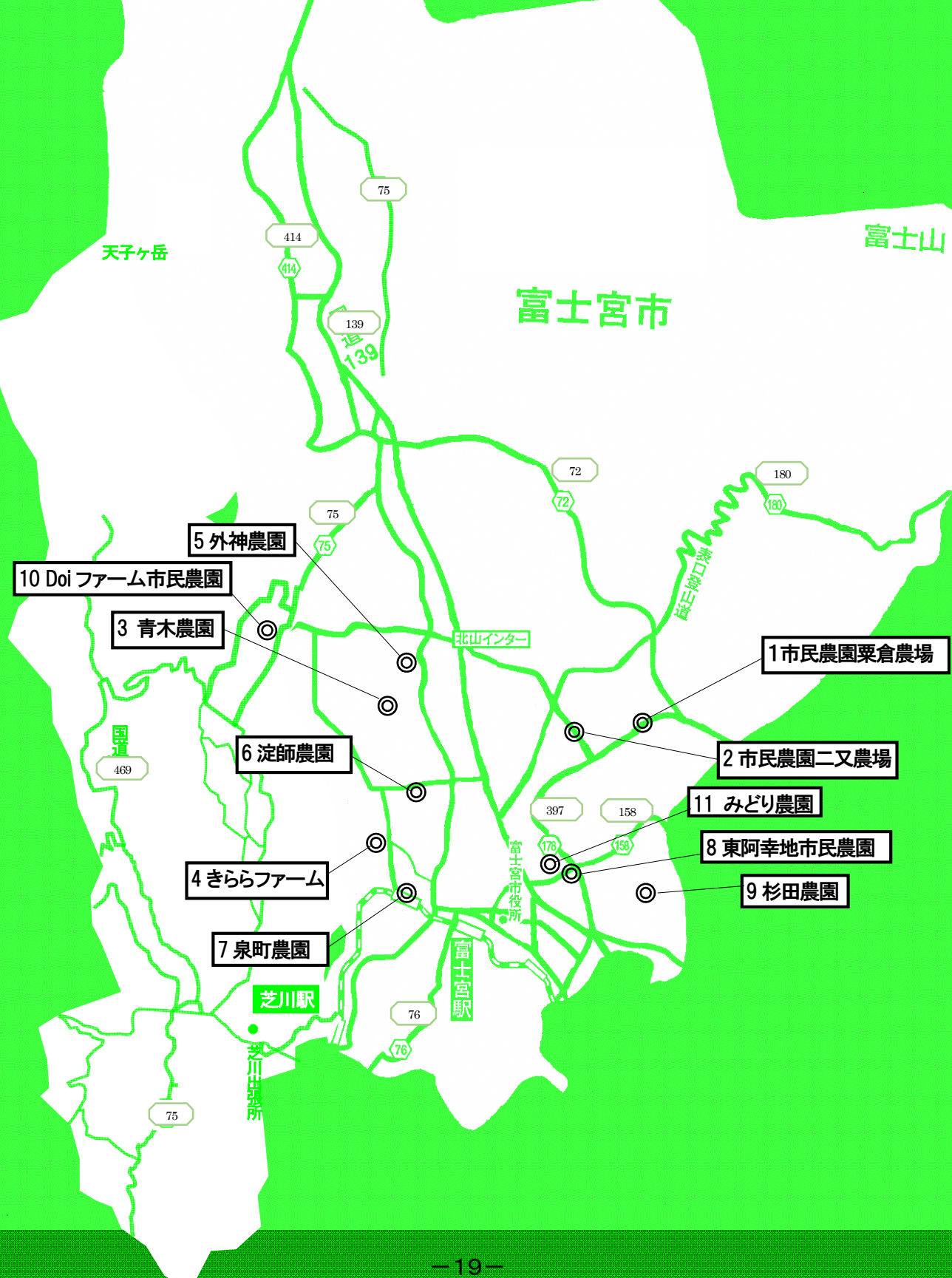
	名 称	場 所	区画数	区画面積 (㎡)	入園料 (円)
1	市民農園栗倉農場	富士宮市栗倉	70	50	5,000
2	市民農園二又農場	富士宮市栗倉（農民市場南）	100	50	5,000
3	青木農園	富士宮市青木	13	66	3,000
4	きららファーム	富士宮市中大里（先照寺南）	10	100	2,000
5	外神農園	富士宮市外神	20	50	3,000
6	淀師農園	富士宮市淀師	16	50	3,000
7	泉町農園	富士宮市泉町	9	50	5,000
8	東阿幸地市民農園	富士宮市東阿幸地	11	50	6,000
9	杉田農園	富士宮市杉田	9	50	5,000
10	Doi ファーム市民農園	富士宮市下条	10	50	3,000
11	みどり農園	富士宮市富士見ヶ丘	5	50	5,000



写真：外神農園

# 富士宮市内の市民農園

富士宮市内に開設されている市民農園の大まかな場所を表示しています。  
なお、4 自然休養農園は表示してありません。





# ふじのみや 農産物等直売所一覧

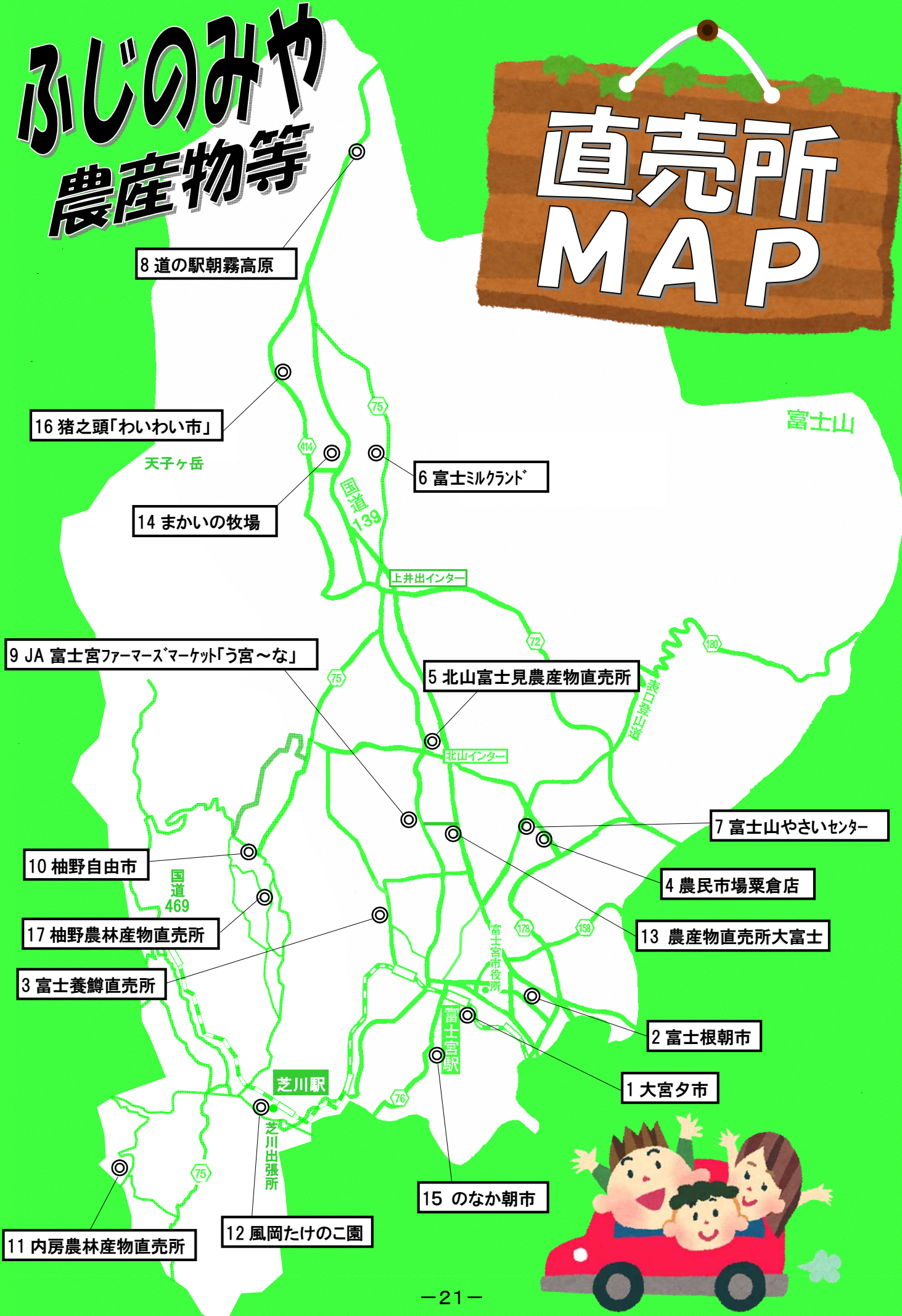


令和5年1月1日現在

	名称	開設場所	開設日・定休日・時間	特徴	問い合わせ
1	大宮夕市	錦町4-4 JAふじ伊豆 大宮支店	月曜のみ開設 15時～	地場野菜・加工品	0544-26-3177
2	富士根ふれあい市	西小泉町55-1 JAふじ伊豆 富士根支店	月・木曜のみ開設 6時～7時30分	地場野菜・加工品	0544-26-2183
3	富士養鱒漁業協同組合直売所	淀師413-5 富士養鱒漁業協同組合事務所 (四中北側)	日曜定休/祝日・お盆・年末年始も休み 8時～16時(土曜8時～11時半)	にじますの加工品 (鮮魚は要予約)	0544-26-4167
4	農民市場粟倉店	粟倉1263 平成大橋北側	年始(1/1～1/5)休み 8時～17時	農家のお母ちゃんの手作り食品・野菜・花	0544-23-8812
5	北山富士見農産物直売所	北山1063-3 北山中学校西側(旧大月線沿い)	水曜定休/年末年始も休み 7時～17時(12,1,2,3月は8時～)	会員が生産した農産物加工品・フルーツ	0544-58-0831
6	富士ミルクランド農産品直売所	上井出3690 富士ミルクランド(人穴街道沿い)	年中無休 平日11時～16時 土日祝10時～17時	地場野菜・加工品・調味料・乳製品	0544-54-3690
7	富士山やさいセンター	山宮392-15(富士山登山道沿い) 国道469号交差点近く	年始(1/1～1/3)は休み 7時～16時	地場野菜・ジャム・漬物 フルーツ・惣菜	0544-58-1233
8	道の駅 朝霧高原	根原492-14 国道139号沿い	年中無休(※臨時休業あり) 8時～17時 (季節によって変更あり)	朝取り地場野菜・有機野菜・牛乳・乳製品・にじます加工品・ソフトクリーム・フルーツ	0544-52-2230
9	JAふじ伊豆ファーマーズマーケット「う宮～な」	外神123	火曜定休(祝日の場合は営業) 年末年始は休み 8時半～16時	富士山麓の安全安心な農産物	0544-59-2022
10	柚野自由市	大鹿窪198-2 JAふじ伊豆 柚野支店	(原則)月・水・金 6時半～10時 ※完売次第終了 ※臨時休業あり(要問合せ)	地場野菜・加工品・花	0544-66-0111
11	内房農林産物直売所	内房1669-1 国道52号沿い(市境近く)	水・木曜定休 9時～15時半 頃	地場農産物・加工品・手打ちそば・漬物・蜂蜜・豆(そばは11時～14時半L.O.14時半迄)	0544-65-2770
12	風岡たけのこ園	長貫1120 県道10号沿い(ファミリーマート隣)	火曜定休 9時～17時半 (たけのこの時期:無休 8時～)	自家栽培の筍・果物 米・季節野菜・昆虫	0544-65-5005
13	農産物直売所 大富士	外神東町243-1	水曜定休 8時半～16時半	農業を使用していない野菜・珍しい野菜・化学調味料・着色料を使用していない加工品など	0544-68-2069
14	まかいの牧場 牧場deマルシェ	内野1327-1 国道139号沿い	3月下旬～11月 無休 9時半～17時半 12月～3月中旬 水・木曜定休(要問合せ) 9時半～16時半	地場野菜・手作り加工品	0544-54-0342
15	のなか朝市(有機の朝市)	野中東町166-1 (渡辺宅庭先)	木曜のみ開設 9時～11時半	無農業で野菜を生産している富士宮市の若手メンバーの作物・弁当・お菓子等を出品	090-8802-9135 (亀井)
16	猪之頭「わいわい市」	猪之頭185 (井之頭小学校南側)	木曜と日曜開設 8時半～11時	地場野菜・落花生(金時)、わさび、わさびのくきの甘酢漬け、手作り味噌など	090-9022-2137 (佐野)
17	柚野農林産物直売所	大鹿窪507-1	火・水曜定休 9時～14時	季節野菜 焼きそば・お好み焼 他 (季節により かき氷・ところてん)	090-2343-9467 (渡辺)

# ふじのみや 農産物等

# 直売所 MAP



富士宮市役所 産業振興部 農業政策課

TEL (0544) 22-1148

FAX (0544) 22-1207

E-mail [nosei@city.fujinomiya.lg.jp](mailto:nosei@city.fujinomiya.lg.jp)

<http://www.city.fujinomiya.lg.jp>